

# コソボの3歳児きょう来日

## 目の難病治療で金沢大付属病院へ

目の難病にかかったユーゴスラビア・コソボ自治州のアルバニア系住民、ネジール・シニツクちゃん（3）が、金沢市の金沢大付属病院で治療を受けるために七日、両親とともに来日する。北大西洋条約機構（NATO）軍による空爆のため治療が続けられなくなり、現地で医療支援活動をしている「アジア医師連絡協議会（AMDA）」（福山市）が日本アルバニア協会（金沢市）を通じて同病院に受け入れを働きかけた。両団体による「ネジール君を支える会」もでき、治療費や滞在費の募金活動が始まる。

### 「支える会」募金活動

ネジールちゃんの病気は、網膜芽細胞腫とされる。目の中に悪性腫瘍ができて、放置すれば脳に転移する可能性が高いという。

今年三月、コソボ自治州プリズレンの自宅から二百キロほど離れた首都ベオグラード市の病院で、右眼球の摘出手術を受けて退院した。転移を防ぐにはその後

も手術が必要だが、四月下旬以降、空爆の

ためにベオグラード市内に

ために入れなくなり、治療を中断せざるを得なくなった。

ネジールちゃんと両親は

成田空港経由で七日夜、石

川県・小松空港に着き、同

病院に入院する。「支える

会」では、千五百万円を目

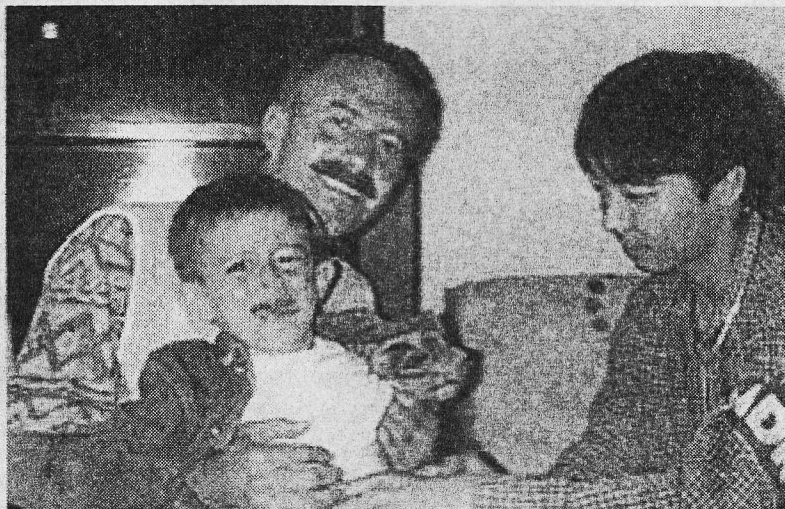
標に募金を呼びかけるとと

もに、通訳を探している。

問い合わせは日本アルバニ

ア協会事務局（073・338

18・3311）へ。



父親に抱かれてAMDAから派遣された日本人医師の診察を受けるネジールちゃん／写真提供・AMDA。8月、ユーゴスラビア・コソボ自治州で